



第13回 交通基本法検討会
～くるま社会のあり方～
「くるま社会と高齢者」

2010年6月7日

(株)第一生命経済研究所

ライフデザイン研究本部

水野 映子

当研究所での これまでの調査研究

- ④ 高齢者・障害者の移動に関する調査研究
 - ④ 「高齢者の外出の現状・意向と外出支援策」
 - ④ 「要介護者の屋外・屋内移動の現状」
 - ④ 「高齢社会における電動三・四輪車の活用可能性」
- ④ 等
- ④ 高齢者・障害者に関するその他の調査研究

本日お話する内容

④ 高齢者の外出の現状とニーズ

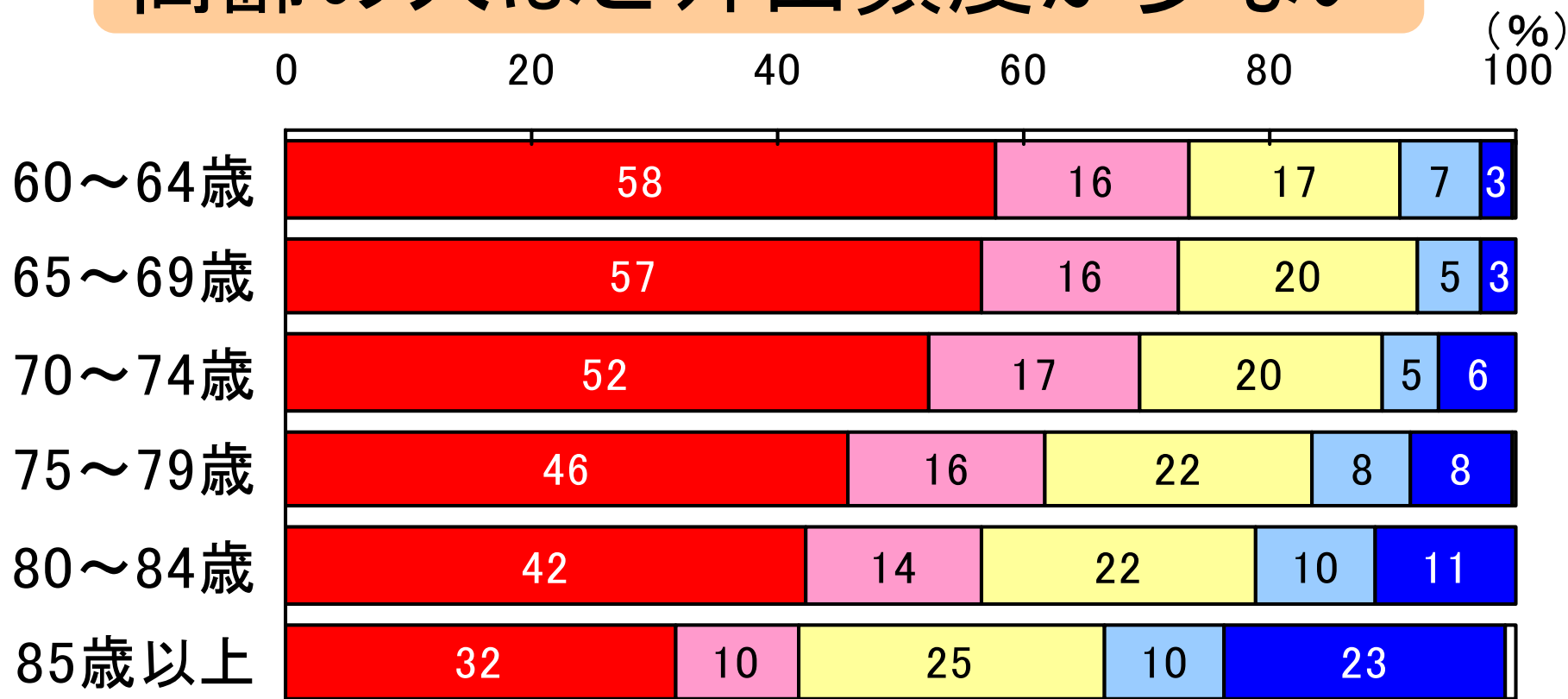
④ 高齢ドライバーをめぐる問題



高齢者の外出の 現状とニーズ

高齢者の外出頻度

高齢の人ほど外出頻度が少ない



■ ほとんど毎日 ■ 週4~5日 ■ 週2~3日 ■ 週1日程度 ■ 月2~3日以下 □ 無回答

資料:内閣府

高齢者の外出先(月1日以上)

	1位	2位	3位	4位	5位
65～ 69歳	買い物を する場所 97%	※会合・ サークル等 75	飲食店 72	公園、 遊歩道 68	病院、 診療所 55
70～ 74歳	買い物を する場所 97	会合・ サークル等 70	飲食店 70	病院、 診療所 67	公園、 遊歩道 52
75歳 以上	買い物を する場所 88	病院、 診療所 76	会合・ サークル等 52	飲食店 44	公園、 遊歩道 40

買い物が1位

高齢の人ほど病院が多い

資料:水野①

高齢者が 行く頻度を増やしたい場所

	1位	2位	3位	4位	5位
65～ 69歳	行楽地、 観光地 69%	文化・ 娯楽施設 65	会合・ サークル等 59	公園、 遊歩道 45	スポーツ 施設 35
70～ 74歳	行楽地、 観光地 66	文化・ 娯楽施設 64	会合・ サークル等 58	買い物を する場所 48	公園、 遊歩道 48
75歳 以上	行楽地、 観光地 54	買い物を する場所 50	文化・ 娯楽施設 45	※家族・友 人等の家 41	会合・ サークル等 39

行楽地・観光地(旅行)
のニーズが高い

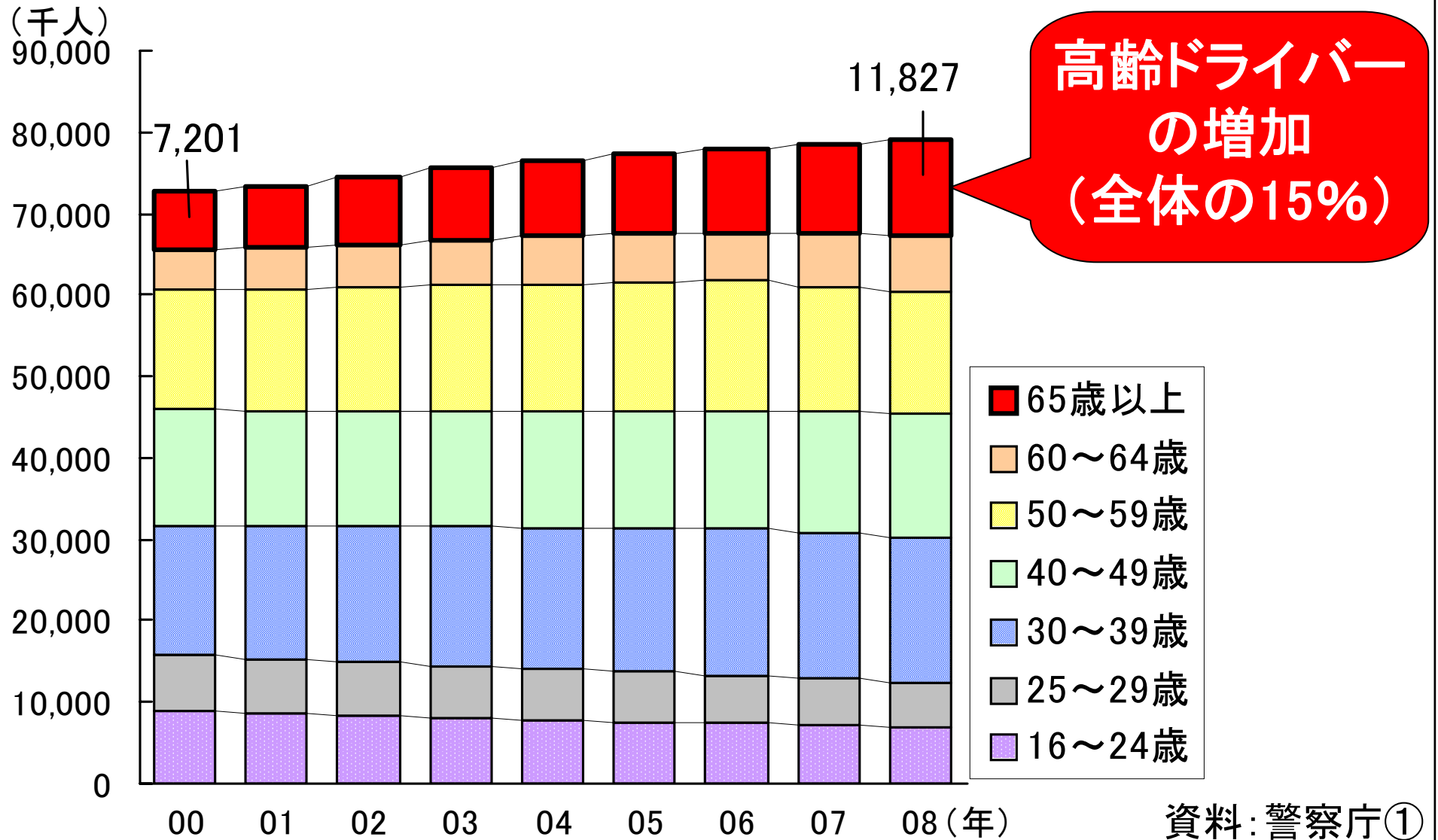
高齢の人ほど
買い物の順位が高い

資料:水野①

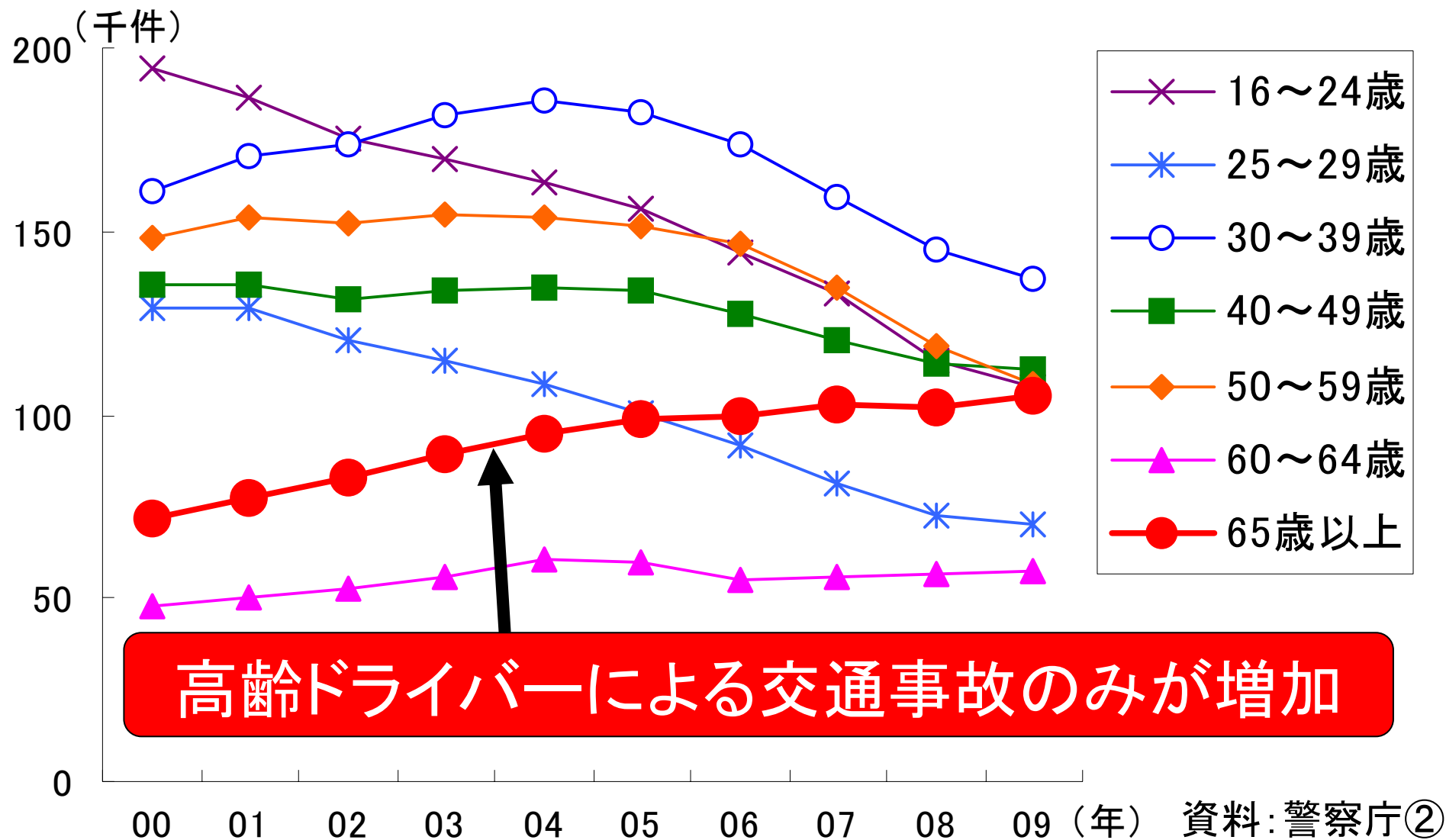


高齢ドライバーを めぐる問題

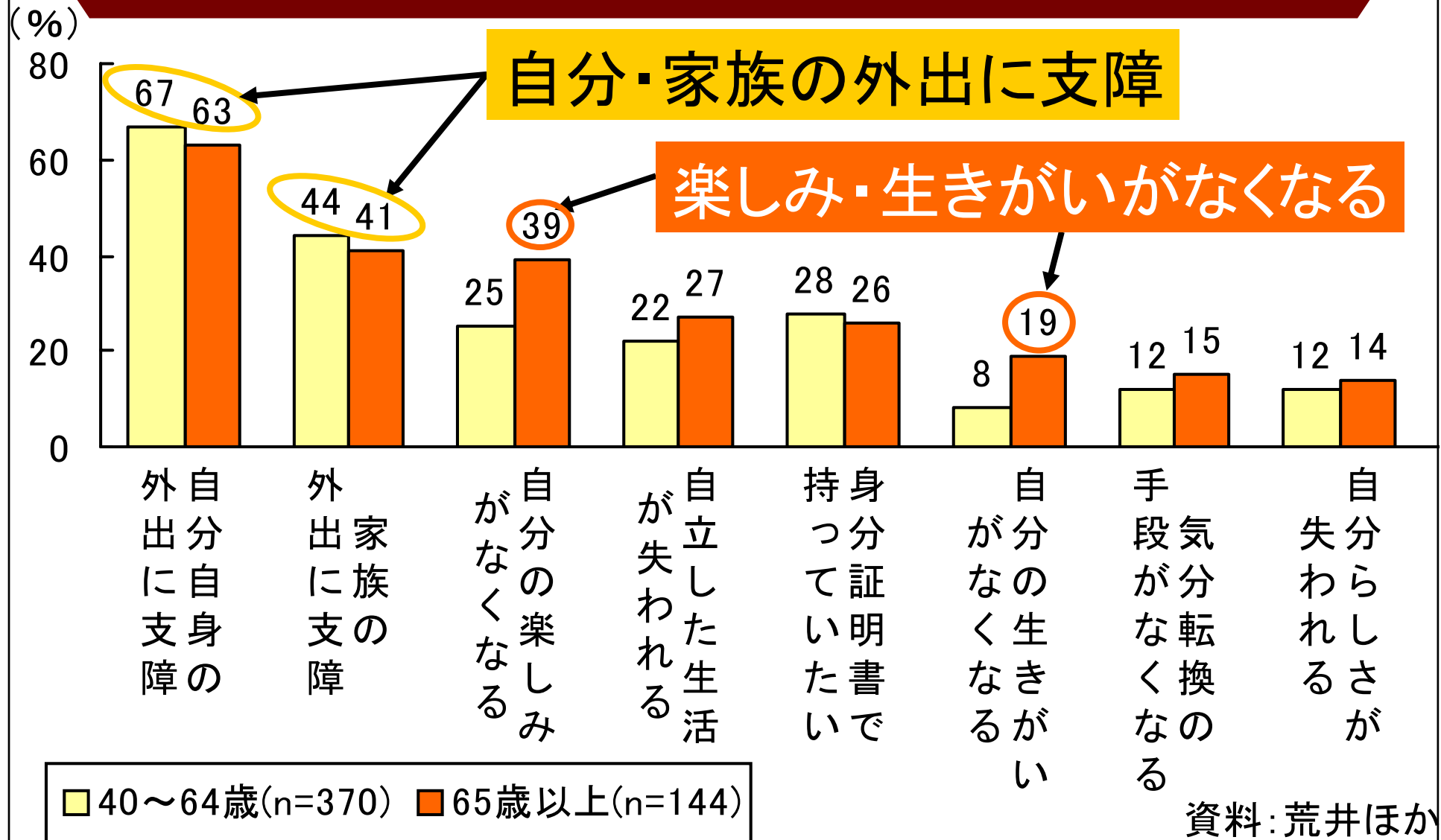
運転免許保有者の推移



原付以上運転者(第1次当事者)による 交通事故件数の推移



現在運転している人が 運転中止をためらう理由



高齢ドライバーに対して 必要なこと

- ④ 運転する高齢者に対して
→ 交通事故の防止策
- ④ 運転をやめる高齢者に対して
→ クルマに代わる移動手段の提供
→ クルマの運転に代わる
楽しみ・生きがい確保の支援

資料

④ 水野映子①「高齢者の外出の現状・意向と外出支援策」2004.9

※「会合・サークル等」は「会合・サークル活動・学習のための施設」、
「家族・友人等の家」は「家族・親戚や友人・知人の家」の略

④ 水野映子②「要介護者等の屋外・屋内移動の現状」
2004.1

④ 水野映子③「高齢ドライバーの事故防止策をめぐって」2010.5

★上記はいずれも第一生命経済研究所発行の冊子『Life Design REPORT』、および以下のHPに掲載されています。

URL <http://group.dai-ichi-life.co.jp/dlri/ldi/>

資料

- ④ 内閣府『高齢者の日常生活に関する意識調査』2010
- ④ 警察庁①『運転免許統計』2001～2009
- ④ 警察庁②『平成21年中の交通事故の発生状況』2010
- ④ 荒井由美子ほか『認知症高齢者の自動車運転に対する社会支援のあり方に関する検討 厚生労働省科学研究費補助金 長寿科学総合研究事業 平成20年度 総括・分担研究報告書』2009.3、p.34-45

※運転中止をためらうとすればどのような理由かを尋ねた結果

※グラフには上位項目のみを掲載